



くるま はし 車はどうして走るの、どうしてガソリンで走るの

くるま うご 車を動かすための6つのもの

くるま はし 車はとても便利なものですね。いつでも、好きなときに、好きなところに行けるので、せかいじゅう つか 世界中で使われています。にほん せかい い 日本は世界で1、2位をあらそう自動車生産国です。じどうしゃせいさんこく

このくるま うご 車を動かすためには、6つのものがひつよう 必要です。1つめは、うんてんしゆ 運転手です。2つめは、エンジンです。エンジンは、くるま うご 車を動かすもとなるちから だ 力を出すものです。3つめは、でんどうそうち 伝動装置です。つまり、エンジンの動きを、タイヤに伝えるためのしくみのことです。4つめは、タイヤです。5つめは、ねんりょう 燃料(ガソリン)、6つめはブレーキ(くるま と 車を止める装置)です。これらが組み合わさって、くるま うご 車は動くのです。

ちから つよ やす ガソリンエンジンは力が強く、ガソリンが安い

くるま はつめい 車が發明されたころは、エンジンはせきたん も 石炭やまきを燃やして、じょうきかんしゃ 蒸気機関車のように、じょうき 蒸気で動かしていたこともありましたが、しかし、げんざい 現在は、こがた おお ちから だ 小型で大きな力を出す、ガソリンエンジンがちゅうしん 中心となっています。また、ガソリンは、ほかのねんりょう 燃料にくらべて、かなりねだん やす 値段が安いというりてん 利点があります。さらに、はいき 排気ガスがきたい 気体であるので、しより 処理しやすいということがあります。しかし、たいき おせん 大気を汚染することがもんだい 問題です。

エンジンの中では、なか 爆発をくり返しながらかえ 車を動かしています。エンジンの中では、なか ガソリンがばくはつ 爆発すると、それがつた 伝わり、ピストンのじょうげうんどう 上下運動がおこります。この動きを集めて、うご あつ 曲軸シャフトのところで、タイヤをまわ うんどう か 運動に変えているのです。(監修・青木 国夫)

